

# 国民体育大会の概要

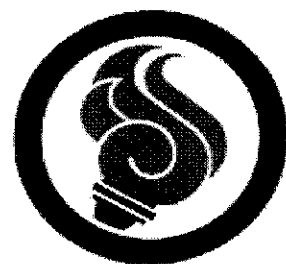
## 目次

- ▼ 国民体育大会(国体)とは？
- ▼ 過去3年の国体開催状況
- ▼ 国体の開催基準
- ▼ 国体の開催経費と財源
- ▼ 国体改革
- ▼ 福井県での開催準備状況

# 国民体育大会(国体)とは？

## 国民体育大会(National Sports Festival)

- 歴史 昭和20年 戦後のスポーツのあり方等を模索する中で、  
全国規模の体育大会の開催が提案される。  
昭和21年 第1回国民体育大会開催(於：京阪神地域)
- 主催 (財)日本体育協会、文部科学省、開催地都道府県  
※各競技会については、日本体育協会加盟競技団体と会場地市町村を  
含めた5者が主催者となる。
- 目的 スポーツの普及、国民の健康増進・体力向上、  
地方スポーツの振興、地方文化の発展、  
国民生活を明るく豊かに
- 会期 冬季大会：12月～2月末日(5日間以内)  
本大会：9月中旬～10月中旬(11日間以内)
- 表彰 総合表彰(天皇杯[男女総合]、皇后杯[女子総合])  
競技別表彰 ※いずれも都道府県対抗



国体マーク

# 国体の行事内容



国体では、主に以下の内容の行事が行われます。

| 項目                 | 実施   | 内容                                     |
|--------------------|------|--|
| 大会旗・炬火リレー          | 実施可能 | 開催県内において、大会旗と炬火(オリンピックの聖火と同様)をリレーでつなぐ。 |
| 総合開会式・<br>総合閉会式    | 必須   | 各県選手団が一堂に会し、式典、各種アトラクションなどを実施。         |
| 正式競技               | 必須   | 都道府県対抗の得点対象となる37競技(本大会)を実施。            |
| 公開競技               | 実施可能 | 指定の4競技について正式競技に支障のない範囲で実施。(全国規模)       |
| 特別競技               | 必須   | 高等学校野球(硬式、軟式)を実施。                      |
| デモンストレーション<br>スポーツ | 実施可能 | 県民を対象として開催県が選択した競技を実施。                 |
| 文化プログラム            | 実施可能 | スポーツ文化や郷土文化等をテーマとした企画展などの催事を実施。        |

※ 後述の要項等で定められている主なもの。その他、様々な県民運動などが実施されています。

平成23年 千山口国体

## 総合開会式



会場: 維新百年記念公園陸上競技場

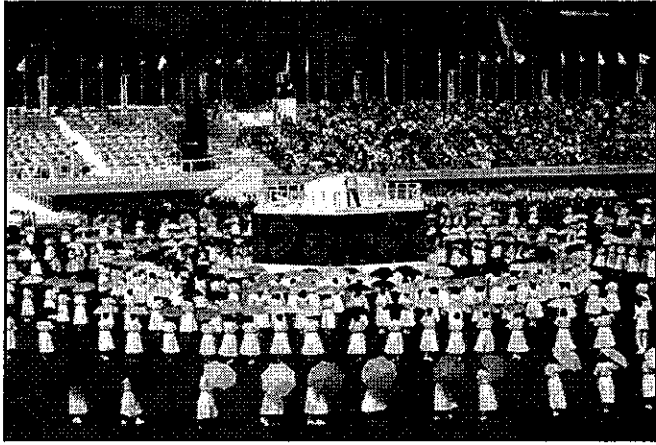
参加者: 約3万1千人

| 番号   | 進行             | 時刻          | 内容   |
|------|----------------|-------------|--|
| 1    | 入場             | 9:30~12:00  | 一般観客、大会関係者等がスタジアムへ入場   |
| 2    | オープニング<br>イベント | 11:00~13:00 | 優秀団体によるイメージソングダンス・ちよるるダンスの披露や、和太鼓、よさこい踊などの「県民パフォーマンス」披露。                                 |
| 3    | 式典前演技          | 13:05~13:35 | 「元気山口シンフォニー」・・・高校生などの出演者が、秋吉台などの「名所・史跡」やふぐ・夏みかんなどの名産品を表現し、最後に子どもたちが、被災地に勇気と希望、元気を送る集団演技。 |
| 4    | 開会式            | 13:51~14:45 | ◎開催基準要項で規定されている内容。<br>・入場行進<br>・開会宣言<br>・国旗、大会旗等儀礼<br>・炬火点火<br>・選手代表宣誓                   |
| 5    | おいでませ!<br>ステージ | 14:58~15:18 | 山口県出身歌手のコンサート  |
| 合計時間 |                | 約6時間        |  |

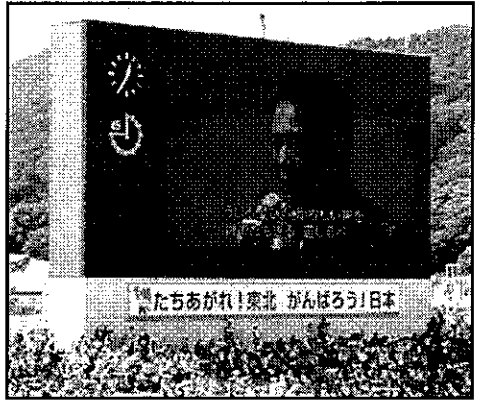
平成23年 山口国体

# 総合開会式

(オープニングイベント、式典前演技)

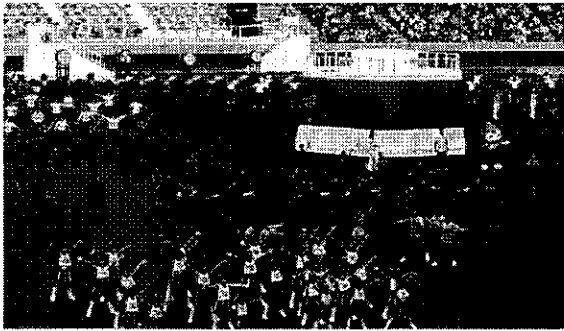


オープニングイベント (フォークダンス)

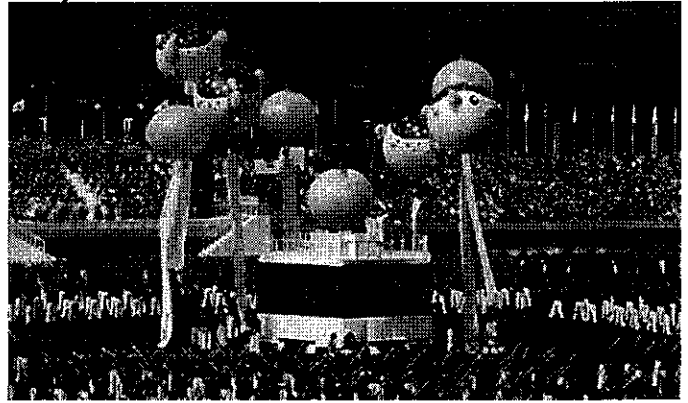


山口県出身  
歌手の出演

会場：維新百年記念公園陸上競技場  
(20,000人収容)



チアリーディング



山口の味を表現

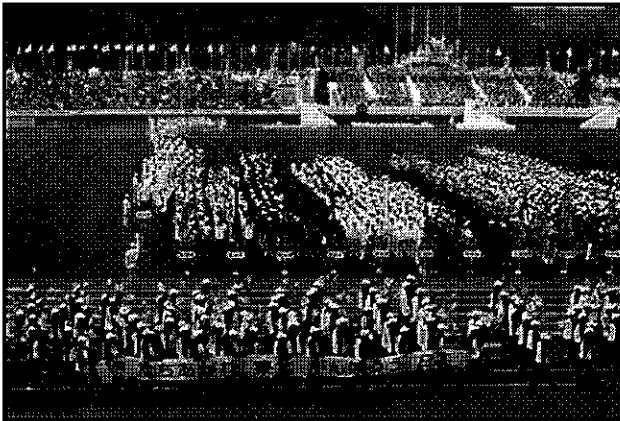
平成23年 山口国体

# 総合開会式 (式典)

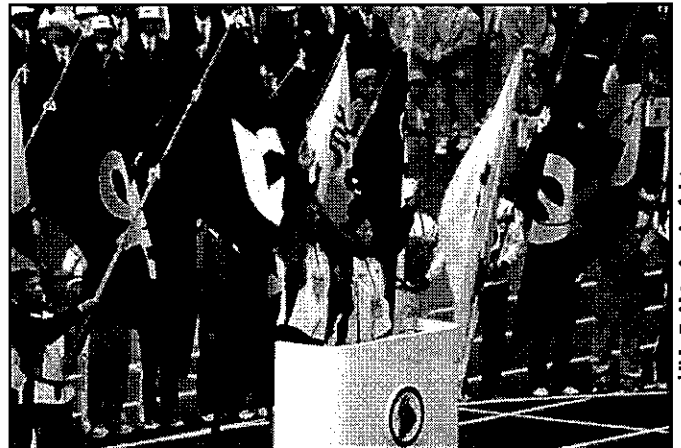
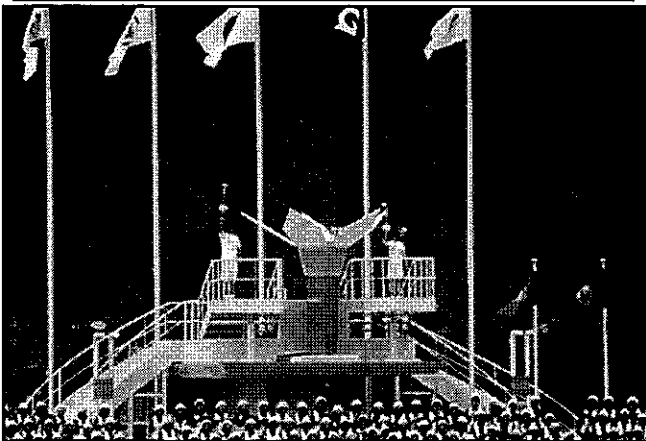


天皇・皇后両陛下御臨席

入場行進



炬火点火



選手代表宣誓

# 総合開会式（参加者数）



| 開催県(開催年) | 先催県概要   | 新潟県(H21)  | 千葉県(H22)  |
|----------|---|---|---|
| 会場       | 主に陸上競技会場  | 東北電力ビッグスワンスタジアム   | 千葉マリンスタージアム   |
| 収容人数     | 平均:約3万人   | 4万2千人   | 約3万人  |
| 改修等年月    | 開催の2年程度前に改修・新築  | H13新設(サッカーW杯会場)   | H2新設(プロ野球本拠地)   |
| 開会式参加人数  | 約 32,000人   | 40,126人   | 33,318人   |
| 選手・監督    | 約 7,400人  | 5,396人  | 5,585人  |
| 大会関係者    | 約 7,000人  | 10,957人   | 11,437人   |
| 一般観覧者    | 約 12,900人   | 23,773人   | 16,296人   |
| 出演者      | 約 4,300人  | 6,294人  | 約 6,700人  |
| 開会式の特徴   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式自体の内容は「国体開催要項」で規定されている。</li> <li>・開会式の前後に式典前演技、オープニング、エンディングとして、集団演技が実施されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入場行進人数の抑制。＝時間の短縮</li> <li>（各県32人の代表だけが入場行進を行い、他の選手は行進後に合流）</li> <li>・中越、中越沖地震からの復興支援に対する感謝を表現。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・13年ぶりに自衛隊ブルーインパルスによる祝賀編隊飛行を実施。</li> <li>・千葉県内スポーツ少年団員が各県応援団となり、各県の入場行進に合わせて、横断幕・小旗などで歓迎・応援を実施。</li> </ul> |

# 正式競技内容



○本大会競技(37競技)

## ・毎年実施競技(34競技)

陸上、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ

## ・隔年実施競技(2競技)

A、Bの競技を隔年で実施（H30はB）

- A [銃剣道、軟式野球]
- B [なぎなた、トライアスロン]

## ・開催地選択競技(1競技)

隔年実施競技のうち、当該年に実施しない競技  
H30福井では Aから [軟式野球] を選択して実施

※第70回(平成27年)和歌山国体から実施(平成21年6月19日 国体委員会で決定)

平成23年 山口国体 **正式競技(相撲)**



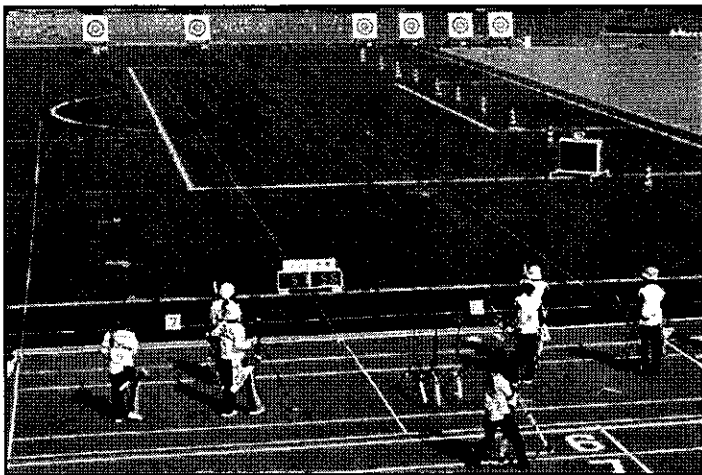
**豊浦夢が丘  
スポーツセンター  
(下関市)**

**本土表1面  
練習土俵6面**



平成23年 山口国体

**正式競技(アーチェリー)**



**周防大島町  
陸上競技場**

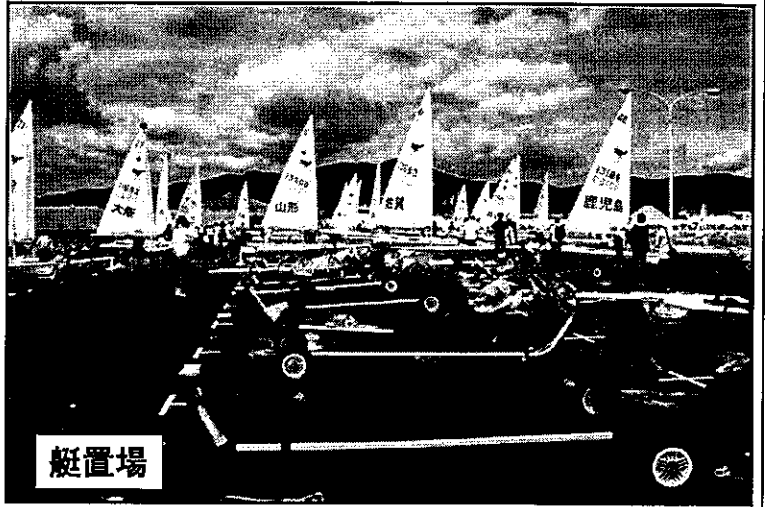


平成23年 山口国体

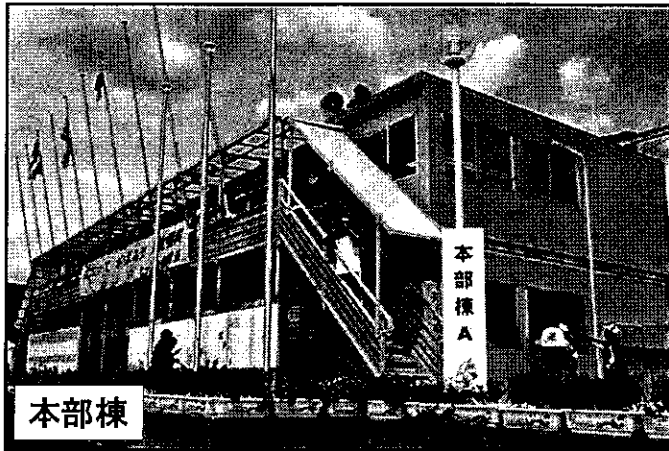
# 正式競技(セーリング)



選手団控えテント



艇置場



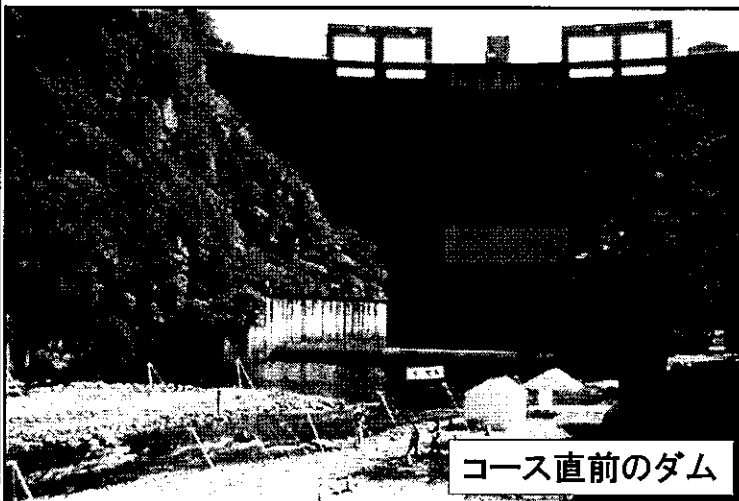
本部棟

本部棟 A

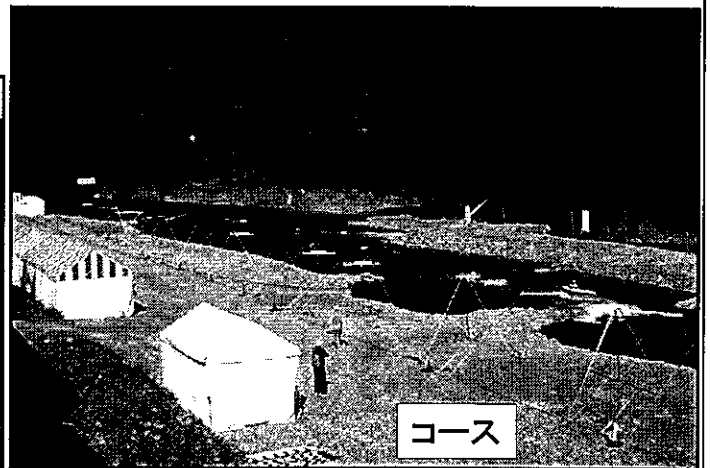
山口県スポーツ  
交流村(光市)

平成23年 山口国体

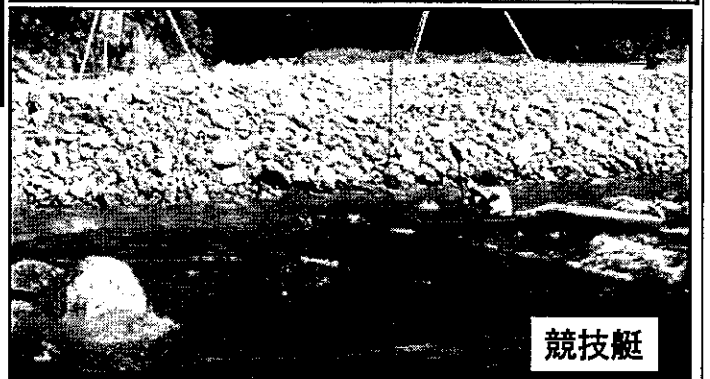
# 正式競技 カヌー〔SL、WW〕



コース直前のダム



コース



競技艇

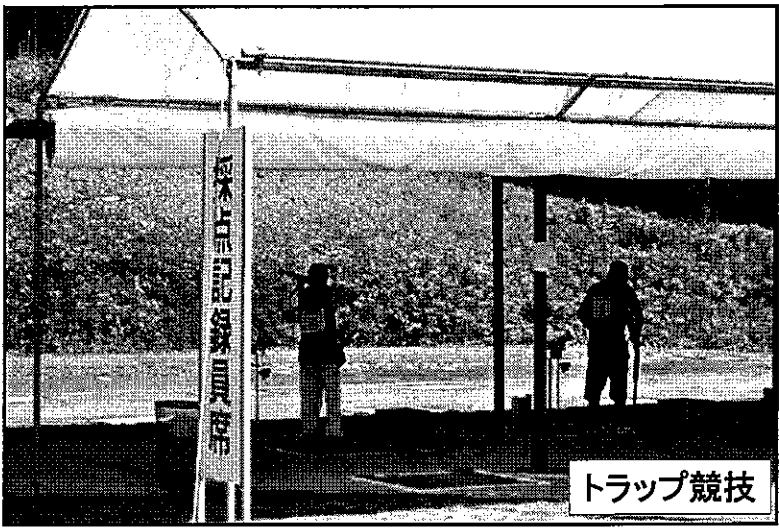
阿武川特設カヌー  
競技場(萩市)



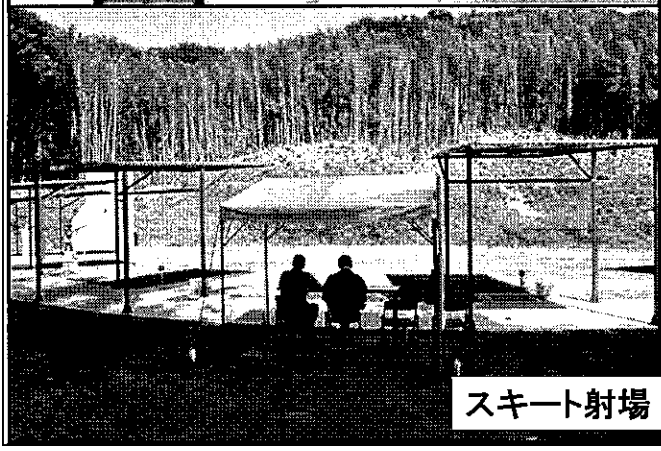
平成23年 山口国体 正式競技 (クレー射撃)



スキート競技



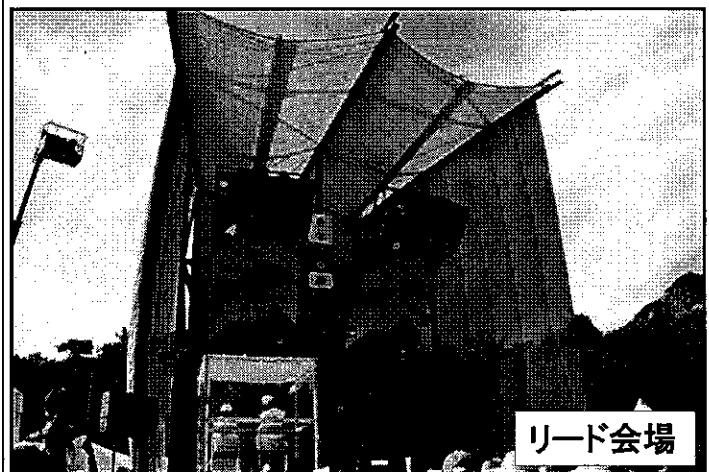
トラップ競技



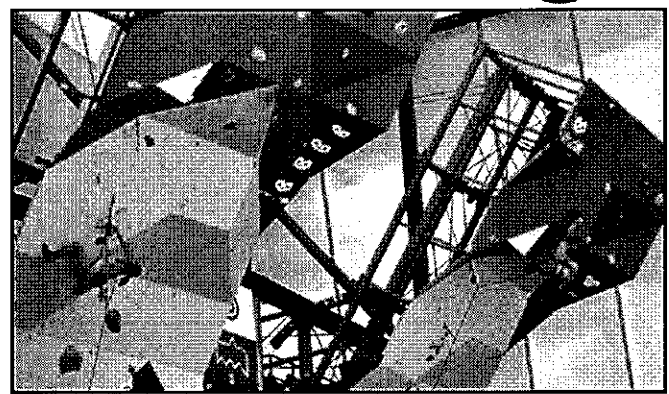
スキート射場

熊毛総合射撃場  
(周南市)

平成23年 山口国体 正式競技 (山岳)



リード会場



山口県セミナー  
パーク(山口市)



ボルダリング会場



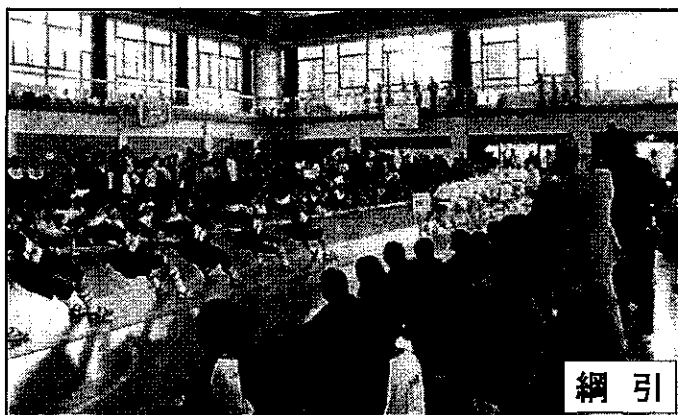
# その他競技等内容



以下の競技等においては、都道府県対抗の競技ではなく、スポーツ振興のために行われる。

| 競技等                | 実施時期              | 参加者                 | 内容  |
|--------------------|-------------------|---------------------|---|
| 公開競技               | 4月～会期内<br>(4日間以内) | 全国の選手が<br>参加可能      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央競技団体が主導し、経費を負担。</li> <li>・正式競技に支障のない範囲で実施。</li> <li>・綱引、ゲートボール、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフが実施可能。</li> </ul> |
| デモンストレーション<br>スポーツ | 4月～会期内            | 開催県内<br>居住者         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催県競技団体が主管する。</li> <li>・開催地で開催競技を選択。</li> </ul>   |
| 特別競技               | 会期内               | 甲子園ベスト8など<br>高野連が選定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校野球を実施。(内容は正式競技と同様)</li> <li>・高等学校野球連盟(高野連)が主管する。</li> <li>・「硬式」と「軟式」を実施。</li> </ul>                 |
| 文化プログラム            | 4月～翌3月            | —                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ文化や開催県の郷土文化等をテーマとした文化的催しを実施。</li> <li>・全体は開催県実行委員会が運営し、個別のプログラムは主催者が主管・運営する。</li> </ul>           |

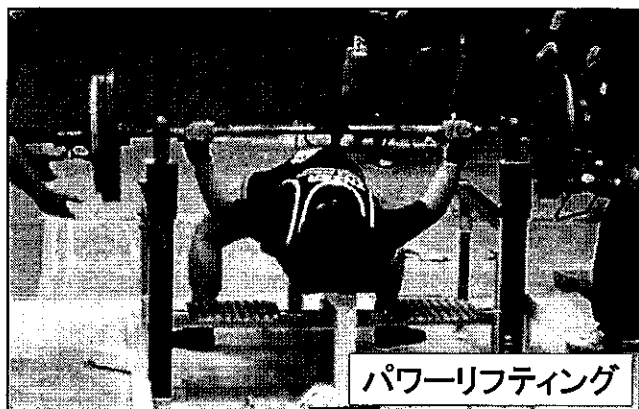
## 公開競技



綱引



ゲートボール



パワーリフティング



グラウンド・ゴルフ

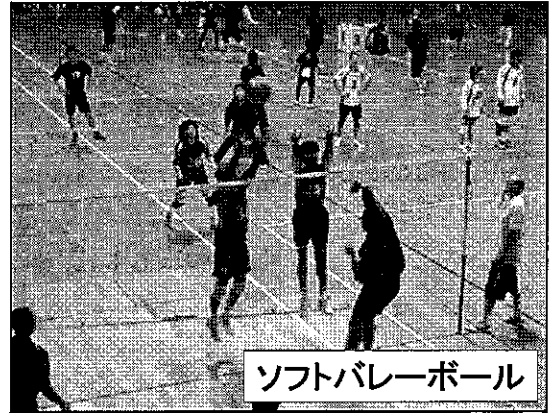
平成22年 千葉国体

# デモンストレーションスポーツ

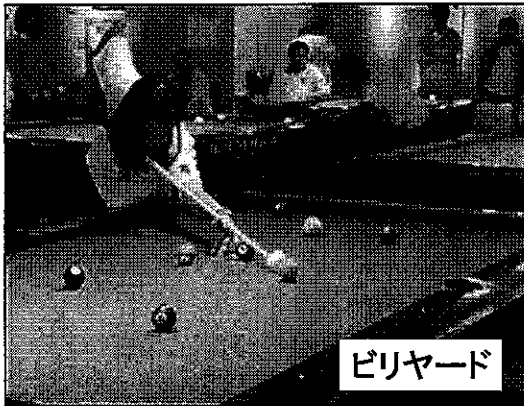
(デモンストレーションとしてのスポーツ行事)



武術太極拳

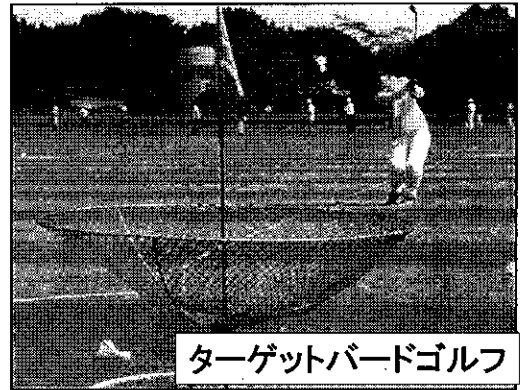


ソフトバレーボール



ビリヤード

※その他多くの競技が行われています。



ターゲットパードゴルフ

平成23年 山口国体

# 文化プログラム



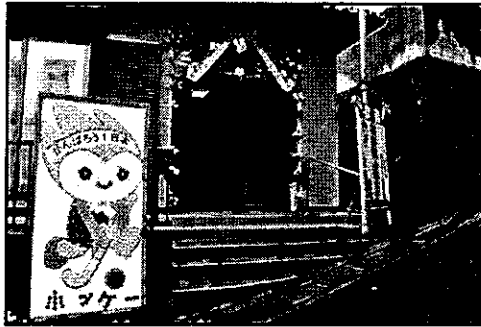
「全国スポーツ写真展」  
於:旧県会議事堂(山口市)

平成23年 山口国体

# 宿泊・衛生関係



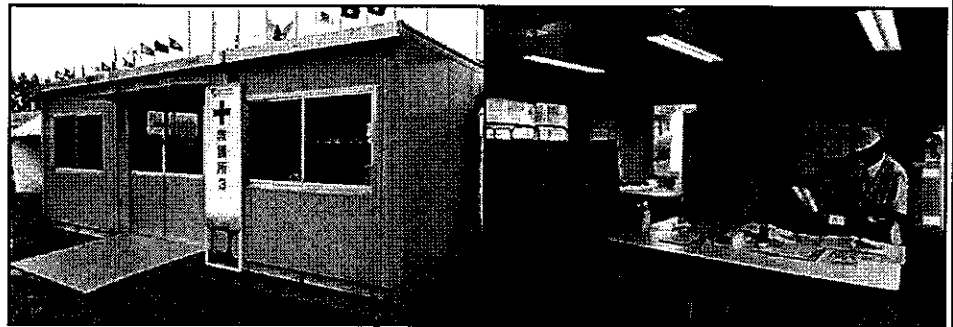
手洗い奨励ポスター



総合開会式 幹旋弁当



民泊(岩国市:ホッケー)



仮設救護所

## 全国障害者スポーツ大会

- 歴史 平成13年 全国身体障害者スポーツ大会（昭和40年設立）と  
全国知的障害者スポーツ大会（平成4年設立）を  
統合して、全国障害者スポーツ大会設立
- 主催 (財)日本障害者スポーツ協会、厚生労働省、開催地都道府県他
- 目的 障害のある選手がスポーツの楽しさを体験  
国民の障害に対する理解を深める  
障害者の社会参加を推進
- 会期 国体開催県において、国体終了後、  
引き続き開催（3日間）
- 実施競技  
1 3競技+オープン競技  
(平成22年千葉大会では4競技)
- 開催経費  
約1.5億円(平成22年千葉大会での県予算額)



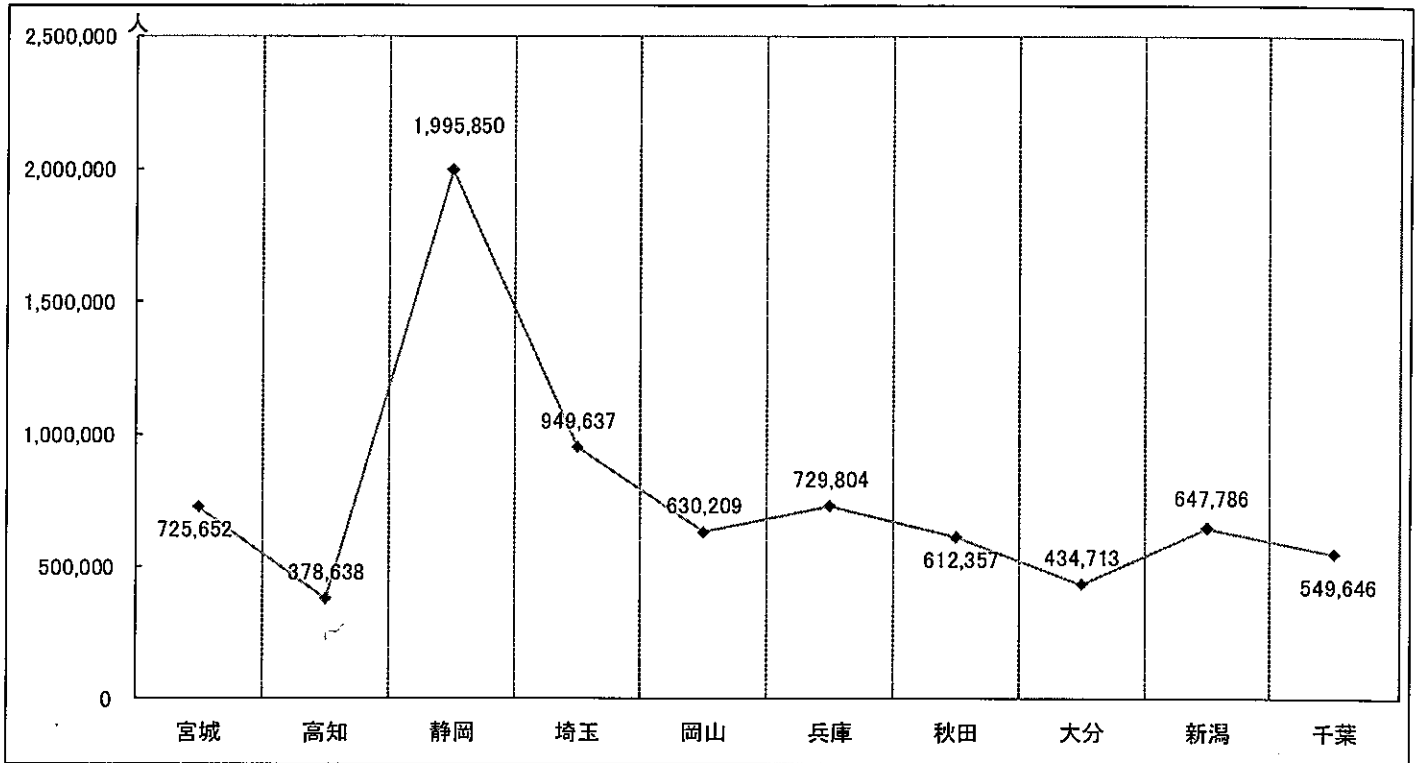
# 過去3年の国体開催状況

## 過去3年の国体開催状況

| 愛称               | 開催時期                 | 参加者数  | 主な特徴   |
|------------------|----------------------|---|--|
| チャレンジ！<br>おおいた国体 | 平成20年9月27日<br>～10月7日 | 監督・選手 21,218人<br>大会関係者 86,125人<br>観客 434,713人 | 一部競技を会期前に開催<br>(会期前開催日)<br>9月11日～15日<br>(対象種目)<br>水泳、フェンシング、<br>ゴルフ ほか |
| トキめき新潟国体         | 平成21年9月26日<br>～10月6日 | 監督・選手 21,760人<br>大会関係者 85,609人<br>観客 647,786人 | 災害復興支援への感謝<br>開会式の入場行進人数を各<br>県32名に。<br>公開競技にビーチバレー、ト<br>ライアスロンが追加     |
| ゆめ半島千葉国体         | 平成22年9月25日<br>～10月5日 | 監督・選手 21,443人<br>大会関係者 96,195人<br>観客 549,646人 | 開会式を野球場で開催。<br>既存施設の活用。<br>(教育施設→ライフル射撃<br>既存用水路→カヌー<br>民間施設→クレー射撃)    |

※監督・選手、大会関係者は、正式競技＋公開競技における実人数  
※観客は、全競技＋開閉会式の延べ人数

## 過去の国体における観客数の推移



※全競技+開閉会式の延べ人数 (各県報告書から)

## 国体の開催基準

# 国体の開催基準

(国民体育大会開催基準要項・要項細則 平成23年3月25日 (財)日本体育協会)

- 開催年 毎年開催（都道府県持ち回り）
- 会期 冬季大会：12月～2月末日（5日間以内）  
本大会：9月中旬～10月中旬（11日間以内）
- 実施競技
  - ・正式競技（都道府県対抗）
  - ・公開競技
  - ・デモンストレーションスポーツ
  - ・文化プログラム
  - ・特別競技
- 会場地 会場地は同一競技は同一市町村内での開催が原則。  
場合によっては、近接市町村での分散開催、近県施設での開催も可能

## 国体開催の地域区分と順序

国体は、下記の地域区分において、輪番で各都道府県が開催する。

| 地区 | ブロック | 都道府県名                              |
|----|------|------------------------------------|
| 東  | 北海道  | 北海道                                |
|    | 東北   | 青森、岩手[H28]、宮城、秋田、山形、福島             |
|    | 関東   | 茨城[H31]、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京[H25]、神奈川、山梨 |
| 中  | 北信越  | 石川[H3]、富山[H12]、新潟[H21]、福井[H30]、長野  |
|    | 東海   | 静岡、愛知、三重、岐阜[H24]                   |
|    | 近畿   | 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山[H27]            |
| 西  | 中国   | 鳥取、島根、岡山、広島、山口[H23]                |
|    | 四国   | 香川、徳島、愛媛[H29]、高知                   |
|    | 九州   | 福岡、佐賀、長崎[H26]、熊本、大分、宮崎、鹿児島[H32]、沖縄 |

## 国体の開催までの手続き

| 項目  | 提出時期                            | 手続き  | 必要書類   |
|-----|---------------------------------|--|--|
| 内々定 | 特に決まってい<br>ない<br><br>(概ね8~12年前) | 「開催要望書」提出<br>日本体育協会長あて<br>文部科学大臣あて<br><br>日体協→ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">申請書提出の<br/>順序了解文書</span> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開催要望書<br/>(知事・教育委員会・体協会長の連名)</li> <li>2. 県議会(招致)決議書</li> <li>3. 開催地区体育協会 同意書<br/>中地区：北信越ブロック 5県<br/>東海ブロック 4県<br/>近畿ブロック 2府4県</li> </ol>   |
| 内定  | 大会開催年の<br>5年前                   | 「開催申請書」提出<br>日本体育協会長あて<br>文部科学大臣あて<br><br>日体協→ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">内定書</span><br>※文部科学省と協議  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開催申請書</li> <li>2. 都道府県議会決議書<br/>(会場市町との競技開催に係る<br/>合意書または契約書が必要)</li> <li>3. 実施予定競技およびその種類</li> <li>4. 実施予定競技の会場地と施設概要</li> <li>5. 大会運営費および施設費の予算書</li> <li>6. 予定開催地ごとの宿泊可能数調査書</li> </ol> |
| 決定  | 大会開催年の<br>3年前                   | 日体協→ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">決定書</span><br>※文部科学省と協議  | ※申請書類は特になし<br>ただし、日本体育協会・文部科学省の<br>現地会場視察あり  |

## 昭和63年以降の国体開催実績

※2巡目以降の開催実績

|    | 開催年   | 愛称        | 都道府県  |
|----|-------|-----------|-------|
| 1  | 昭和63年 | 京都国体      | 京都府   |
| 2  | 平成元年  | はまなす国体    | 北海道   |
| 3  | 平成2年  | とびうめ国体    | 福岡県   |
| 4  | 平成3年  | 石川国体      | 石川県   |
| 5  | 平成4年  | べにばな国体    | 山形県   |
| 6  | 平成5年  | 東四国国体     | 香川・徳島 |
| 7  | 平成6年  | わかしゃち国体   | 愛知県   |
| 8  | 平成7年  | ふくしま国体    | 福島県   |
| 9  | 平成8年  | ひろしま国体    | 広島県   |
| 10 | 平成9年  | なみはや国体    | 大阪府   |
| 11 | 平成10年 | かながわ・ゆめ国体 | 神奈川県  |
| 12 | 平成11年 | くまもと未来国体  | 熊本県   |

|    | 開催年   | 愛称          | 都道府県 |
|----|-------|-------------|------|
| 13 | 平成12年 | 2000年とやま国体  | 富山県  |
| 14 | 平成13年 | 新世紀・みやぎ国体   | 宮城県  |
| 15 | 平成14年 | よさこい高知国体    | 高知県  |
| 16 | 平成15年 | NEW!!わかふじ国体 | 静岡県  |
| 17 | 平成16年 | 彩の国まごころ国体   | 埼玉県  |
| 18 | 平成17年 | 晴れの国おかやま国体  | 岡山県  |
| 19 | 平成18年 | のじぎく兵庫国体    | 兵庫県  |
| 20 | 平成19年 | 秋田わか杉国体     | 秋田県  |
| 21 | 平成20年 | チャレンジ!おおい国体 | 大分県  |
| 22 | 平成21年 | トキめき新潟国体    | 新潟県  |
| 23 | 平成22年 | ゆめ半島千葉国体    | 千葉県  |
| 24 | 平成23年 | おいでませ!山口国体  | 山口県  |



## 平成24年以降の国体開催予定

|    | 開催年   | 愛称          | 開催<br>都道府県 | 現在の状況 |
|----|-------|-------------|------------|-------|
| 25 | 平成24年 | ぎふ清流国体      | 岐阜県        | 開催決定  |
| 26 | 平成25年 | スポーツ祭東京2013 | 東京都        | 開催決定  |
| 27 | 平成26年 | 長崎がんばらんば国体  | 長崎県        | 開催決定  |
| 28 | 平成27年 | 紀の国わかやま国体   | 和歌山県       | 内定    |
| 29 | 平成28年 | —           | 岩手県        | 内々定   |
| 30 | 平成29年 | —           | 愛媛県        | 内々定   |
| 31 | 平成30年 | —           | 福井県        | 内々定   |
| 32 | 平成31年 | —           | 茨城県        | 内々定   |
| 33 | 平成32年 | —           | 鹿児島県       | 内々定   |

## 国体の開催経費と財源

## 国体開催にかかる主な経費

### ○運営費

- ① 開・閉会式の開催経費
- ② 各競技大会の開催経費
- ③ リハーサル大会の開催経費
- ④ その他(事務局運営経費など)

### ○施設整備費(新設、特設、改修)

- ① 開・閉会式会場の整備費
- ② 各競技会場等の整備費

### ○競技力向上費

- ① 国体に向けての選手強化費
- ② " " 指導者育成費

## 国体開催の主な財源

### ○運営費財源

H23山口国体での見込み  
1,800万円減額

○ 文部科学省補助金 約 3億5千万円

○ (財)日体協交付金 約 1千1百万円  
(参加費から)

新潟、千葉国体

◎ 募金・企業協賛 約 5億4千万円  
(H17~21平均)

景況変化により、  
近年激減

◎ その他 入場料収入、マスコットキャラクター  
グッズ販売 等

※上記以外については、開催地地方公共団体負担

# 先催県における国体開催経費

(単位:億円)

| 開催年 | 開催地 |       | 開催経費 | ※開催経費等は各国体報告書または県決算額 |     |        |
|-----|-----|-------|------|----------------------|-----|--------|
|     | 福井  | 82万人  |      | 施設整備費                | 運営費 | 競技力向上費 |
| H12 | 富山  | 111万人 | 627  | 509                  | 81  | 37     |
| H13 | 宮城  | 236万人 | 597  | 504                  | 64  | 29     |
| H14 | 高知  | 79万人  | 未公表  | 185                  | 73  | 未公表    |
| H15 | 静岡  | 380万人 | 未公表  | 144                  | 54  | 未公表    |
| H16 | 埼玉  | 708万人 | 未公表  | 27                   | 50  | 未公表    |
| H17 | 岡山  | 196万人 | 未公表  | 108                  | 47  | 未公表    |
| H18 | 兵庫  | 559万人 | 未公表  | 18                   | 66  | 未公表    |
| H19 | 秋田  | 113万人 | 385  | 304                  | 44  | 37     |
| H20 | 大分  | 121万人 | 142  | 60                   | 52  | 30     |
| H21 | 新潟  | 238万人 | 83   | 9                    | 37  | 37     |
| H22 | 千葉  | 608万人 | 69   | 12                   | 41  | 16     |

## 国体改革

# 国体をめぐる課題と改革

(国体改革2003 平成15年3月25日 (財)日本体育協会・国体委員会)

## 課題

- 都道府県の経費等の負担増
- 競技ルールの変更と施設・設備の適合の困難さ
- トップアスリート参加の困難さ
- 一過的で過剰な強化策



## 【大会の充実・活性化】

外国籍競技者の参加認定、ふるさと選手制度の導入、予選免除の拡大、ドーピングコントロールの導入 など

## 【大会運営の簡素・効率化】

夏季・秋季大会の一本化、大会参加者の総数15%削減、施設基準の弾力的運用、近接県の競技施設の活用、企業協賛制度の導入、複数県による広域開催の検討 など

# 国体改革の方向性

(国体の今後のあり方プロジェクト提言骨子 平成19年3月7日

(財)日本体育協会・国体委員会)

【目的・性格】・・・ 国内最大・最高の総合スポーツ大会と位置づけ  
国内トップクラス層の競技者の参加を促進

【実施競技】・・・ 隔年実施競技の導入

【開催時期】・・・ 大会会期を9日間に短縮  
最大3競技程度までの会期前開催への対応

【施設等】・・・ 開催後の利用も視野に入れた施設基準の策定  
隣接・ブロック内都道府県施設の広域利用

【大会名】・・・ 時代にふさわしい名称についての検討 など

## 近年の国体に見る国体改革①

### 【H20 大分国体】

#### ○参加人数の削減

選手・大会役員数 約22,000人

→ 前回 秋田国体と比べて3,400人(15%)削減(日体協主導)

#### ○既存施設の効率的活用

競技日程を調整し、複数競技を同一会場で実施

#### ○式典等の簡素化

県下全域をリレーする「炬火リレー」を廃止し、各市町村が手作り炬火イベントを実施

### 【H21 新潟国体】

#### ○開会式の入場行進人数を制限

各都道府県32人(従来は各200~400人前後)

→ 式典時間の短縮、選手の負担軽減、選手団がアトラクション等を観覧

#### ○式典施設の有効利用

大会で使用した移動式の炬火台を核に記念公園を整備

## 近年の国体に見る国体改革②

### 【H22 千葉国体】

#### ○新たな形での開・閉会式の開催

- ・ 開会式を初めて野球場で開催(千葉マリンスタジアム)
- ・ 開会式と閉会式を別会場で開催(閉会式:千葉県総合スポーツセンター陸上競技場)
- ・ 招待客、大会関係者などの開会式への入場をスムーズに行うため、バーコードによる認証システムを導入

#### ○新たな企業協賛制度の導入

開催県と(財)日本体育協会が連携し、(財)日本体育協会オフィシャルパートナー企業が、「国体パートナー」として、国体時における広告協賛、物品協賛を行う制度を創設した。



開会式入場の際のバーコード認証

# 福井県での開催準備状況

第73回国民体育大会

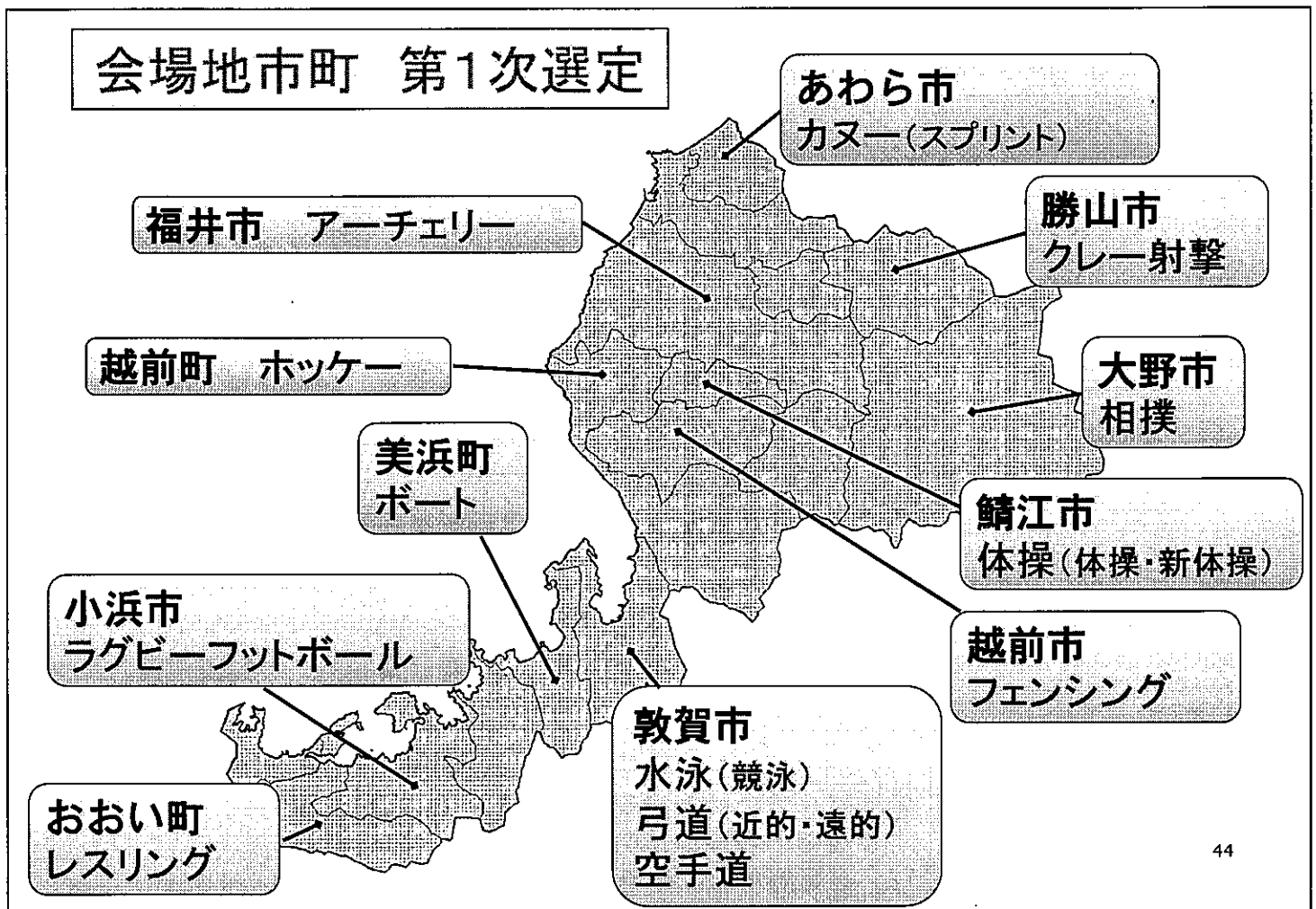
## 開催準備経過（主要項目）

| 年 月 日      | 内 容   |
|------------|---|
| 平成22年 2月   | 「福井国体ビジョン」策定<br>福井県が目指す「新しい形での国体」を実現するための指針として策定。   |
| 平成22年 5月   | 福井県開催が内々定<br>第73回国民体育大会（平成30年予定）が福井県で開催されることが実質上、決定。  |
| 平成22年 8月   | 「県準備委員会」設立<br>県内各界の代表が集い、第73回国民体育大会福井県準備委員会を設立。   |
| 平成22年 11月～ | 各分野「検討会」の開催<br>専門分野ごとに「総務企画」、「施設整備」、「競技運営」、「広報・県民運動」の4検討会を設置。                                       |
| 平成23年 6月   | 会場地市町の第一次選定 / 開催地選択競技の決定<br>各検討会での検討結果を踏まえ、常任委員会において、11市町13競技の会場地市町を選定し、開催地選択競技として「軟式野球」を実施することを決定。 |

# 会場地市町第一次選定

平成23年6月3日 第2回常任委員会 決定

| 競技名・種目名       | 市町名  | 開催予定施設            |
|---------------|------|-------------------|
| 1 水泳(競泳)      | 敦賀市  | 市総合運動公園プール        |
| 2 ボート         | 美浜町  | 県立久々子湖漕艇場         |
| 3 ホッケー        | 越前町  | 町営朝日総合運動場 等       |
| 4 体操(体操・新体操)  | 鯖江市  | サンドーム福井           |
| 5 レスリング       | おおい町 | 町総合運動公園体育館        |
| 6 相撲          | 大野市  | 市エキサイト広場総合体育施設体育館 |
| 7 フェンシング      | 越前市  | 武生中央公園体育館         |
| 8 弓道(近的・遠的)   | 敦賀市  | 市総合運動公園弓道場        |
| 9 ラグビーフットボール  | 小浜市  | 市総合運動場陸上競技場 等     |
| 10 カヌー(スプリント) | あわら市 | 北潟湖特設カヌーコース       |
| 11 アーチェリー     | 福井市  | 市スポーツ公園多目的グラウンド   |
| 12 空手道        | 敦賀市  | 市総合運動公園体育館        |
| 13 クレー射撃      | 勝山市  | 県立クレー射撃場          |





# 今後の開催準備スケジュール

| 年度  |               | 手続き等                          | 推進組織等             |
|-----|---------------|-------------------------------|-------------------|
| 8年前 | H22<br>(2010) | 開催内々定                         | 国体準備委員会           |
| 7年前 | H23<br>(2011) | 開催要請書提出                       |                   |
| 6年前 | H24<br>(2012) |                               |                   |
| 5年前 | H25<br>(2013) | 開催内定                          | 中央競技団体会場地視察       |
| 4年前 | H26<br>(2014) | 開催申請書提出                       |                   |
| 3年前 | H27<br>(2015) | 開催決定                          | 日体協・文科省<br>会場地視察  |
| 2年前 | H28<br>(2016) |                               | 国体・障スポ大会<br>実行委員会 |
| 1年前 | H29<br>(2017) |                               |                   |
| 開催年 | H30<br>(2018) | 第73回国民体育大会 第18回全国障害者スポーツ大会 開催 |                   |

